

渋谷、音と光MAP

調査は夜の九時から終電までを目安に、渋谷駅の半径6、700メートルの範囲で、光と音それぞれ600近い点を取った。地図から、光と音の大きさから、4分割できることに気付いた。まず左上のエリアは、繁華街エリアとみることが出来、常に人が入りみだり、音も光もとても大きいエリアだった。次に音や光が大きく見られたのは右上のエリアで、こちらは住宅も少々出てくるが飲食店やおしゃれなカフェが多く並び、特徴として小さい店の多さが印象に残った。そして次は右下のエリア。こちらは住宅が多く、大通りから一本入っただけでとても静かになるような場所だった。そして、この地域では博物館や大使館、学校などが多く、もちろんこれらは夜になれば人もいなくなるので、静かで、道も狭く一つ一つの土地の広さをかんじた。そして最も音と光が小さかったのが左下のエリアで、こちらはオフィスやバーが点在するだけでなく、非常に閑静で住環境としてもよい場所であると思った。そして、光と音の特徴で分割したエリアの境界には大きな道路や線路が横切っているということが分かってきた。そして同時に渋谷は大きな道路が交差する街であることもこの地図から見えてきた。渋谷は交差する大通りや線路から多くの人を連れてきて街を発展させたが、それらの大通りにより街が分断されている。そのため、発展した中でも、その区切られた枠内で人々がそれぞれの街を作り上げ、このような様々な個性がぶつかり合い、少し歩けば雰囲気もガラッと変わるような街が出来たのではないかと自分たちなりに考えた。



音の大きさ (dB)
 40-60 半径 2cm 円
 61-70 半径 30m 円
 71-80 半径 40m 円

光の強さ (Lux)

0-5	黒
6-10	茶
11-15	黄
16-60	赤
61-80	紫
81-100	橙
100-	黄

'N2045 高橋 佑典
 'N2005 池谷 謙吾
 'N2065 花嶋 佑介

3060:1